

令和元年度 1 学期終業式校長式辞（7 月 19 日）

今日で令和元年度の 1 学期が終了し、いわゆる夏休みに入ります。

皆さん、今年の夏をどう過ごしますか？

是非、取り組んでほしいことが二つあります。

一つ目は、昨年の夏の自分と今の自分とを比べてみることです。1 年間の自分の変化を、特に成長したことを考えてみてください。自信のない人は、数年前の夏の自分と比べてください。必ず成長しているはずです。特に一番伸びたことが、あなたの強みであり得意なことです。将来の生きる道につながるものになるかもしれません。自信をもってください。他の人と比べる必要はありません。

二つ目は、10 年後の夏の自分をイメージして、その自分から、今年の夏の過ごし方を指示してみてください。教育改革の中で高校と大学の接続ということが言われていますが、このことは、大学入試のことだけを示しているわけではありません。高校での生活・学習に繋がって、大学での生活・学修があり、その大学での生活・学修に繋がって社会での生活・仕事・能力開発があります。大学入試がゴールでなく、高校時代から社会で生き抜いていく自分をつくる必要があります。高校生としての夏と社会人として過ごす夏は繋がっています。

その意味でも、選挙権のある人は、明後日の参議院選挙に行ってほしいと思います。

さて、今年の夏は一度きりです。過去の自分の視線から自信をもって、未来の自分の視線から大学の向こう側の社会を意識した高い志をもって、この夏を過ごしてください。

一人ひとりの成長を期待しています。

（県立岡山朝日高等学校 校長 竹田義宣）